

投資姿勢は二極化 積極派と資金確保

日本財託調べ

ワンルームマンション
など投資用不動産の販売
・管理の日本財託グルー
プ（新宿区西新宿、重吉
勉社長）は6月24日、コ
ロナ禍での不動産投資家
の意識調査をまとめた。

同社で物件を購入した
個人投資家915人を調
べたところ、「株式・投
資信託の購入」を行った
と回答した投資家が4割
超（41・9％）となる一
方で、「投資行動を控え
る」（28・4％）と「手

元資金の確保」（25・9

％）で5割を超えた。投資
動向が二極化している。

夏のボーナスは約8割
が支給されるものの、約
3割で支給額が減少する
見込みだとした。増加見

込みは14・4％、変わら
ないが55・7％となった。
そのボーナスの使い道は
前年と比べて旅行などが
半減した。投資用不動産
の繰り上げ返済は2割強
の増加となった。